

<20231106 学校長より 朝礼にて>

文化祭が終わり、一週間が過ぎました。

今日は**無から有を生み出す、君たちの素晴らしさ**について話します。

この舞台上にあったスローガンの看板です。「**Can make MATSUNI Festival～最高の笑顔をもう一度～**」の文字が舞台上にまぶしいくらいに、舞台発表する生徒のみなさんを輝かせてくれました。私はあの看板が作られるのはどれくらいの過程があったか、想像しました。

まずスローガンの言葉がなくては始まりません。スローガンの募集の告知をし、作品を集めることが最初です。それぞれのクラスで文化祭のスローガンの作品を集め、実行委員会で選定し、決定する。他にも思い入れが詰まった、良い候補が多くあったと聞いています。それをうけた美術部が、デザインを考える。字体・レタリング、大きさをどうするか、色は何色にするか、飾りや模様はどうするか、力を合わせて考えたと思います。そして、下書きをし、実際に飾る大きさで、描き始めます。2週間ほど前には、鉛筆の下書きだけだったのを覚えています。10日ほど前には字体に色が付き始めました。日々完成していくスローガンを放課後、見てまわるのが楽しみになってきました。美術部の生徒があまりにも集中して色を塗っているので、気軽に話しかけられず、励ましの言葉をかけるのが精一杯でした。前日、完成したスローガンが舞台上上がった時、素敵なスローガンだな、と感動しました。

文化祭の大成功は、あのスローガンなしには語れません。言葉を生み出した生徒のみなさん、その言葉を素敵な作品にしてくれた美術部のみなさん、ありがとうございました。

全校生徒のみなさん、みなさんには何かを創り上げる力を持っています。無から有を生み出す力、クリエイトする力があるのです。クラスの合唱も、それぞれの舞台発表も、展示発表の作品も、すべてゼロ、無からのスタートです。一人一人の力が見事に団結した時に無から有が生まれます。そして想像できない力に変わります。見ている人はそれを感じた時、心が動きます。感動が生まれます。まさに松二中生の力の結晶が文化祭で発揮されました。松二中は、また一段とより良い中学校に進化していると自信を持って言えます。

11月に入りました。一人一人が**個人の生活でも、新たによりよいものを創造する、つくりあげていく、クリエイトしていく**。そんな気持ちで日々の生活を送ってほしいと願います。今日も一日、新たな一日が始まります。良い日にしていきましょう。

終わります。